

# 二島中学校だより

No.3

北九州市立二島中学校

校長 森 隆

向暑の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

さて、2・3年生は、各学年の大きな行事、「修学旅行」「農業民泊体験学習」も終わり、素晴らしい体験をして、また一つ大きく成長して帰ってきました。1年生におきましては、6月29日から始まる2泊3日のふれあい合宿へ向けて準備をしています。友人や先生、自然とふれあい、楽しい宿泊行事を通して大きな学びの場となることを期待しています。

## ○ 5月19日～21日 修学旅行

4月から修学旅行実行委員会を立ち上げ、スローガン「常に心に二中魂！！～Make the best memories～」を掲げて、修学旅行の準備をしてきました。スローガンの意味は、「どこに行っても二島中学校の生徒であることを忘れずに、学年全員で最高の思い出を作る！」ということでした。3日間とも天候に恵まれ、事故もなく本当に素晴らしい修学旅行で、一人一人の心に最高の思い出が刻まれたものと思っています。

## ○ 5月27日～29日 農村民泊体験学習

熊本県小国町の農村の方々の家に宿泊し、日常の生活では味わえない素晴らしい体験をして帰ってきました。生徒は、2泊3日という短い期間でしたが、受け入れ家庭の皆様との心の交流や農業や林業などの仕事の体験を通して、大きく成長しました。生徒たちが農作業をしている姿を見て回りましたが、学校生活ではとても見られない生徒たちの満面の笑み・楽しそうな表情は、最高でした。3日目のお別れのときには、別れを惜しんで受け入れ家庭の方々と抱き合い、涙を流す生徒も少なくありませんでした。生徒たちが考えた農泊のスローガン「一期一会～出会ったものすべてに感謝～」にピッタリと当てはまる体験学習ができました。

※ 配布したお便り掲載の写真は表情がよくわかる写真のため、ホームページでは割愛して掲載致します。

ワンポイントコーナー

テーマ： 「人の優しさ」

5月14日(木)の8時過ぎ、いつも通り校門で登校してきた生徒たちに挨拶をしていると、急に大粒の雨が降り出しました。しばらくして、本校の女子二人が私に声をかけてくれました。「校長先生、この傘、おばあちゃんが貸してくれました。」女子二人はとても嬉しそうに差していた傘を私に見せてくれました。私が、「それはよかったねえ！どこで？どんな人？」と聞くと、二人は「アパートで、二人が雨宿りしていたら、70歳くらいのおばあちゃんが家から傘を2本持って来て、『これを差して行きなさい。』と言って手渡されました。私たちが、『この傘、どのように返したら？』と聞くと、そのおばあちゃんは、優しく『ドアのところにかけておいてくれたら良いよ！』と言って、家の中に入っていました。」そう話す二人の表情があまりにも嬉しそうで、私までも感激させられました。

私は、「一生、忘れ難い素晴らしい思い出やね！私たちもそんな優しい人になりたいね！」と言いながら、笑顔で二人を教室へ見送りました。

この朝の一場面を思い出す度に、心に爽やかな風が吹きます。